



## 今月の表紙

### 「令和3年度只見町成人式」

今回はオンライン参加も実施しました。画面越しに手を振る姿もあり、新成人の方々は互いの再会を喜びあっていました。成人式を迎えられた皆様、本当におめでとうございます。

(関連記事：P 2 - 3)

### 《特集》

只見町成人式 ..... 2 ~ 3

只見高校の定員数と学級数の増について要望  
..... 4

『神皇正統記 只見本 カラー影印・簡訳・解説』  
民報出版文化賞受賞報告 ..... 5

《News&flash》 ..... 6 ~ 7

《町の話題》 ..... 8 ~ 9





# 新成人おめでとうございます!

# 令和3年度 只見町成人式

令和3年度の只見町成人式が8月15日に季の郷湯ら里で行われ、山村留学生16期生4名を含む新成人29名（男性15名、女性14名）が出席しました。

昨年度の成人式は新型コロナウイルスの影響により、残念ながら最終的に中止となりましたが、今回は町内のワクチン接種率が高いことから、感染症対策を強化して行うことで2年ぶりに開催しました。

式では新成人を代表して大竹力さん（梁取）が渡部勇夫町長から成人証書を受け取りました。また、家族からの手紙が全員に渡され、新成人の皆さんは照れくさそうな表情を見せながらも真剣に手紙を読んでいた。最後に、新成人を代表して渡部莉子さん（黒谷）が謝辞を述べ、只見町成人式が閉式しました。



▲家族からの手紙を読む新成人の皆さん



▲新成人を代表して、大竹力さんが成人証書を受け取りました

## 謝辞



新成人代表 渡部 莉子さん

未曾有の災禍の中にも関わらず、沢山の方に祝福していただけますことを大変光栄に思います。

新型コロナウイルスの影響により、目まぐるしく移り変わる非日常の先の見えないもどかしさに不安を抱くこともあるかと思えます。しかし、悩み、迷い、疲れた時には立ち止まり、ふるさと只見町の自然を感じることで自分自身を癒すことが出来ます。そして、温かく見守って下さる家族や地域の方々という何よりも大きな支えがあります。

かけがえのないふるさと只見町で、人生の節目である成人式を迎えることができ、本当に嬉しく思います。

今まで支えて下さいました皆様への感謝を忘れず、それぞれの目標に向かって努力してまいりますので、今後ともご指導をお願いいたします。



## 18歳の酒プロジェクト

18歳の酒プロジェクトとは、只見高校・南会津高校の3年生を対象に地元の“ものづくり”に直に触れてもらいたいという想いにより始まったプロジェクトです。

高校3年生の時に「酒米づくり」と「酒造り」を体験します。出来上がったお酒は2年間貯蔵し、酒づくりを体験した方に成人式でプレゼントされます。

当日は、同実行委員会長の山内征久さん（梁取）と渡部町長から参加者代表の山内開さん（ゆきひさ）に「18歳の酒」が手渡されました。



## 町長からのメッセージ



成人を迎えられた皆様、誠におめでとうございます。

皆さんがこれから生きていく時代は、地球温暖化による気候変動によって起きる災害の多発、地域間の紛争、そして経済格差の広がりなどの困難が多い時代です。一方で、国籍や性別、年齢などにこだわらず様々な人材を登用しようとするなど、人物本位で受け入れようとする社会環境が整いつつあり、そのことが大切な価値観になっています。

只見町は小さな町ですが、これらの価値観を大切にし、人物本位で自然環境と文化を活かし、持続的な町づくりを目指してまいります。

最近、IQ（知能指数）よりEQ（心の知能指数）、という言葉が盛んに使われています。これは感情を共有する能力とも言われています。他人の傷みを思いやる力、一緒に喜びや悲しみを分かち合う力、と言ってもいいかも知れません。

情報が洪水のように流れる不安と隣り合わせの生活の中でも、自分の道を自分で選んで歩いていくためには、自分の感情と向き合い、寄り添って生きていくことが大切です。

これからは、成人として自分の行動や言葉に自覚と責任をもち、そしてそれぞれの目指す未来を歩んでいってください。只見町は、いつまでも皆さんを応援し続けています。

## 新成人の夢・目標

式の終了後に、夢や目標をスケッチブックに描いていただきました。

夢に向かってこれからも頑張ってください。※撮影にご承諾いただいた方のみを掲載しております。



# 只見高校の定員数と学級数の増について要望

只見高校の定員は原則40人ですが、希望状況に応じて定員数増が検討されます

## 縮小された定員数と保護者からの不安の声

県立只見高等学校（以下…只見高校）は、「県立高等学校改革前期実施計画（※）」に基づき、令和2年度より定員数が70人から40人に縮小となり、1学年2学級から1学年1学級となりました。

この様な中、来年卒業予定の地元生徒数は40人を超えており、山村教育留学生も例年10人程度を受入れて

いることから、「現在の定員数40人では、進路先に地元の只見高校を志望しても入学が難しいのではないか」との不安の声が保護者の方をはじめ、地域の皆さんから上がっていました。他にも、定員数・学級数の縮小により教職員数が減っていることで教育の質の低下が心配されています。

そこで、町と町教育委員会は、7月15日に、「只見高校の定員数と学級数の増について」の要望書を県教育委員会鈴木教育長に提出しました。



▲鈴木教育長に要望書を渡す渡部町長と渡部教育長



▲昨年度より1学年1学級となった只見高校

## 県教育委員会教育長の回答

### 定員数の増について

- 只見高校は、入学希望生徒が増えれば40人1クラスを固定するものではない
- 今後の進路希望調査で入学希望者が40人を超えた場合、状況を見極めた上で最終的に40人以上の入学という臨時的な措置をとることを検討する

### 学級数の増について

- それなりの年数で継続的に定員を大きく超えるような場合、2学級を検討する

町でも只見高校の振興対策として、希望による冬期間の寮生活受入れや町外へのスクールバス運行など、保護者の方の負担軽減や生徒がより良い学校生活を送れるような案を検討しています。県教委の回答を受けて町では、受験生を持つ町内外の保護者や学校関係者の皆様に、進路希望の状況に応じて只見高校定員増の可能性があることを正しく伝えるよう、県と力を合わせて広報活動を行ってまいります。

※「県立高等学校改革前期実施計画（2019～2023年度）」とは

少子化による小規模校の増加を主な理由に、1学年4～6学級を望ましい学習環境として、県内の県立高校を現在の96校から81校に再編するというものです。只見高校と南会津高校（南会津町界）もその見直し対象になっています。

只見高校は、「地理的条件や公共交通機関の状況等から、統合により近隣高校への通学が困難になる」「地元からの入学者割合が著しく高い」という理由で統合とはなりませんでしたが、定員数を1学年2学級（70人）から1学年1学級（40人）へ縮小されました。



福島民報出版文化賞特別賞受賞

『<sup>じん の う し ょ う と う き</sup>神皇正統記 只見本<sup>えい いん</sup> カラー影印・簡訳・解説』



▲受賞報告をする久野さん(右)、渡部教育長(左)



▲只見町で発見された『神皇正統記只見本』

只見町教育委員会が刊行した『神皇正統記 只見本 カラー影印・簡訳・解説』が、第44回福島民報出版文化賞の特別賞を受賞しました。

この本は、黒谷の民家から発見された福島県指定重要文化財『神皇正統記只見本』の全ページをカラーで掲載し現代語訳を付けたものです。訳・解説は、久野俊彦さん（東洋大学講師）が執筆しました。今回の受賞は、「貴重な史料を広く読める形でまとめたことに意義がある」と評価され、特別賞に選ばれました。

『神皇正統記』とは

『神皇正統記』は延元4年（1339）秋に、公家の北畠親房が、南北朝の動乱の最中に筑波山麓の小田城（現茨城県つくば市）で著した歴史書です。イザナギ・イザナミなどの日本の神々から神武天皇までと、神武天皇から後村上天皇即位までの神話と歴史が叙述されています。歴史叙述の間に、仏教論や故事説話、政治倫理などが織り込まれています。

『神皇正統記 只見本』とは

『神皇正統記只見本』は、上方で学んで東国に下向した真言僧祐俊が天正15年（1587）に書写した写本です。『神皇正統記』の中世写本としては福島県初の発見であり、年代の明らかな写本としては諸本の中で6番目の古写本です。装丁は、綴葉装（てつちようそう）で綴じられ、破損がほとんどなく題簽（だいせん）・綴じ糸も当時のままと考えられています。書中には、振り仮名や漢字の音読み・訓読みの指示符号が付き、歴史的なできごとには付箋がつけられています。また親本が、高野山の主要

な塔頭（たっちゅう）である龍光院の僧によって書写されており、素性が明らかな写本とされています。

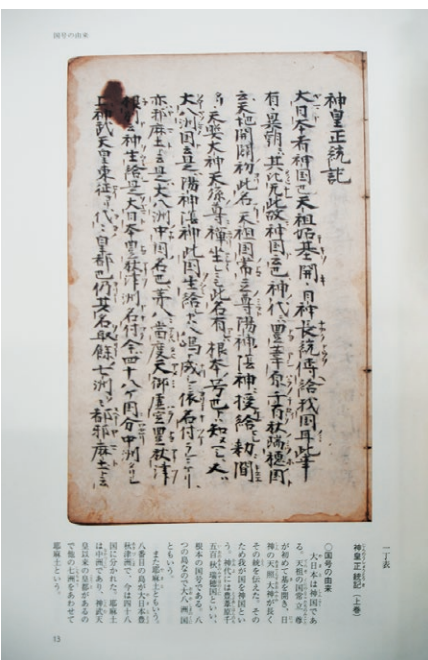
古典籍に触れる

『神皇正統記 只見本 カラー影印・簡訳・解説』では、『神皇正統記只見本』を1ページずつ現代語訳と併せて掲載しているほか、わかりやすい解説も掲載しているため、これから古典籍に触れたいと考えている方にも読みやすい書籍となっています。

この機会に貴重な文化遺産に触れてみてはいかがでしょうか。

購入についての問合せ

米屋書店 ☎82-2778  
 頒価2500円



▲『神皇正統記 只見本 カラー影印・簡訳・解説』では、1ページで原文と簡訳を対照して見ることができ、読みやすくなっています。



**八十里越開通後の連携を深める  
第4回越後・南会津街道  
観光・地域づくり円卓会議**

「越後・南会津街道 観光・地域づくり円卓会議」を、7月30日に只見振興センターで開催しました。

この会議は、国道289号八十里越道路開通後の沿線地域連携の在り方を検討するため、新潟県三条市、南会津町、只見町の民間委員が集まり進められているものです。

今回から3市町の商工団体と観光物産団体が加わり、地域経済の状況と観光関連サービスとの関係性を学び、八十里越エリアの観光コンテンツ選定や磨き上げの計画が話し合われました。



▲今回は3市町長が傍聴し、最後に期待の言葉が寄せられました

**魅力的なまちづくりの人材確保のため  
オンライン町村役場見学ツアー**

公務員に関心のある学生や社会人に向けたオンライン町村役場見学ツアーが、8月12日、13日に実施され、只見町を含めて8町村が参加しました。

この事業は、県が町村職員の採用活動を支援するもので、就職希望者へ町村のPRや仕事内容を紹介することで、町村職員を目指す若者を増やし、将来的な職員確保を目的とするものです。

只見町からも、職員3名が参加し、只見町で働こうと思ったきっかけや今取り組んでいる業務や取り組みなどを視聴者に向けて伝えました。

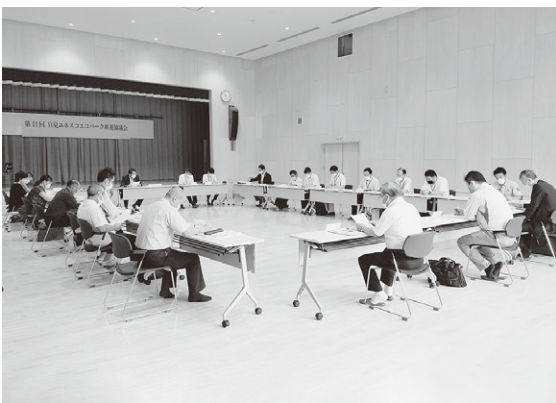


▲庁舎内見学も行われ、渡部町長やブナりんも町の取組みや魅力を発信しました

**自然環境や動植物の保全・保護のために  
第13回 只見ユネスコエコパーク  
推進協議会**

「第13回 只見ユネスコエコパーク推進協議会」を、7月28日に只見振興センターで開催しました。

会議では、日本ユネスコエコパークネットワークの令和3年度総会議案に関し、次期会長に只見ユネスコエコパーク推進協議会会長（只見町長）が就任することなどへの承認、国道289号八十里越の自然環境や野生動植物の保護・保全を図るための開通を目指すために協議会や関係機関・団体が取り組んでいくことの確認などが行われました。



▲推進協議会では、保護・保全の状況の確認についても触れられました

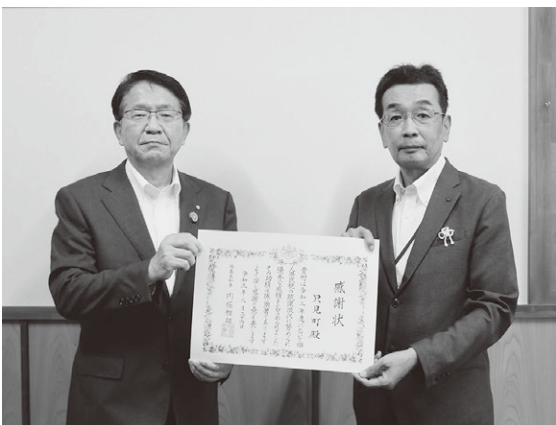
**令和2年度個人県民税の納付  
只見町に県知事より感謝状**

個人県民税の納付で優良な成績を収めた自治体に対する知事感謝状贈呈式が、8月26日に役場で行われ只見町に感謝状が贈られました。

今回の表彰は、令和2年度分の納付率（99・9％）が対象でしたが本町は例年、非常に高く維持しており、感謝状の贈呈を受けています。

当日は、金子市夫南会津地方振興局長が来庁し、渡部町長に感謝状を伝達しました。

今年度（令和3年度）分については完納を目標に、計画的な納付へのご協力をお願いいたします。



▲感謝状を渡す金子振興局長(右)と受け取る渡部町長(左)



研修地に選ばれる只見町  
日本自然環境専門学校が実習



▲捕獲した昆虫を観察する学生

日本自然環境専門学校(新潟市)の昆虫研究室の学生11名が、8月4日、5日に調査実習のために只見町へ来町しました。  
今回の調査実習ではブナセンター職員の指導のもと、癒しの森地内の異なる森林数か所に昆虫捕獲トラップを仕掛け、森林ごとに出現する昆虫の種類や数を比較するなどの調査を行いました。  
この様に只見ユネスコエコパークでもある町の動植物の多様性は、多くの研究者や学生から研究の場としても活用されています。

パラリンピック聖火フェスティバル  
旧長谷部家住宅で種火起こし

東京2020パラリンピック聖火フェスティバルの採火式が、8月13日に旧長谷部家住宅で行われました。式では昔の仕事着を着用し、囲炉裏の中で起こされた種火から採火されました。  
只見町で採火された火は、会津地方各地の種火と集められ「会津の火」となり、同様に集められた「浜通りの火」、「中通りの火」と合わせて、一つの「福島県の火」として東京まで届けられました。  
また、種火を起こした酒井香苗さん(只見高3年)と五十嵐葵さん(只見中3年)は、24日に役場を訪れ、渡部町長に種火起こしの報告をしました。



五十嵐さんは「パラリンピックに出場される方々に頑張ってもらいたいという想いを込めました」と話し、酒井さんは「歴史ある場所から歴史のある方法で出場者へエールを届けることができました」とそれぞれ思いを話されました。



▲囲炉裏の火をランタンへ移す様子



▲種火起こしで使用したランタンを持ってきていただきました

地域の外国語教育の充実と国際交流に尽力  
「JET紳大使」・  
「福島県親善大使」に任命



▲シヨーン先生、3年間本当にありがとうございました

町内の小中学校や心志塾で活躍されたALITのシヨーン・カーター先生が、「JET紳大使」と「福島県親善大使」に任命され、7月21日に渡部教育長から伝達されました。  
シヨーン先生は、平成30年8月から令和3年7月までの3年間、小中学校で外国語教育にご尽力されたほかに、町内イベントへ参加されるなど地域の国際交流のきっかけを作ってくださいました。



## 只見町から環境を守る 新聞レジ袋づくり教室

只見町教育委員会主催の「中学生による新聞レジ袋教室」が、8月1日(日)午前・午後、2日(月)午前の計3回開催されました。

昨年も実施された新聞レジ袋教室はとても好評で、今回は新型コロナウイルス感染症予防のため、現地参加以外に、ただみコミュニティクラブのご協力でもオンライン参加も実施し、ふるさと大使の方々も参加されました。

参加された方は、「新聞紙のレジ袋を使って、知人に野菜などをプレゼントしたい」と感想を話しました。



▲初日にはテレビ取材も入りました

## 身近に生息する生き物を学ぶ 子ども教室「ビオトープ観察会」



▲捕まえた生き物の説明を聞く児童

夏休み子ども教室イベント「ビオトープ観察会」が、8月6日に黒谷地内で開催され、町内の児童16人が参加しました。

児童は思い思いに生き物を探し、見つけた生き物はブナセンター職員の解説を聞きながら観察をしました。

今回の観察会で見つけた生き物は、オニヤンマやゲンゴロウ、ヒキガエル、ドジョウなど約20種類にもなりました。児童は様々な生き物が生息できる環境の大切さについて理解を深めました。

## なんでもチャレンジ隊「夏休み体験講座」 「ダムと只見の自然について学ぼう」

「なんでもチャレンジ隊」の「夏休み体験講座」が8月7日(土)に行われ、チャレンジ隊に所属する児童のうち8人が参加しました。

今回の講座では、前半にJ-POWER 只見展示館においてダムの役割などについて学習し、後半はただみ・ブナと川のミュージアムにおいて、ブナセンター職員から只見町の動植物の生態系や企画展の内容について説明していただきました。

最後にはオリジナルのうちわをつくり、参加した児童からは「ブナセンターにへびがいてビックリした。自分だけのうちわが作れて、とても楽しかった」との感想があり、楽しい夏休み体験講座となりました。



▲ブナセンターで説明を聞くなんでもチャレンジ隊



## 長岡藩家老 河井継之助をしのぶ 河井継之助墓前祭

「河井継之助墓前祭」が河井継之助の命日となる8月16日に医王寺で行われました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し関係者を中心に執り行われました。

渡部仁一実行委員長の挨拶として、関係者や参列者へのお礼の言葉などが述べられた後、読経が行われました。

その後、渡部町長から「知見を深めた河井継之助に習い学び続け、それに裏打ちされた自信に基づいて行動していきたい」と追悼の言葉を述べられました。



▲追悼の言葉を述べる渡部町長

## 熱心に競技を楽しみました ニュースポーツ交流大会



▲真剣な表情で狙いを定め、周りもそれを見守りました

令和3年度南会津地区ふれあいニュースポーツ交流大会が、8月4日に只見町町民体育館で開催され、只見町老人クラブと南会津町老人クラブで各2チームずつの計4チームが参加しました。

競技は、囲碁ボール、ポッチャ、スカットボールの3競技に分かれての総当たり戦で行われ、隣町同士の勝負だけでなく同町同士の勝負もあり、とても白熱した大会となりました。

チームの垣根を超えて、応援や歓声があり、両町の絆も深まる大会となりました。

※ニュースポーツ(new sports)とは、20世紀後半以降に新しく考案・紹介されたスポーツ群をいいます。

## たくさんのトンボが見つかりました ブナセンター観察会「真夏のトンボ観察会」

只見町ブナセンター主催の町内の親子向け「真夏のトンボ観察会」が、8月8日に開催し、3家族7名が参加しました。

参加者は町内の田んぼと溜め池の2ヵ所でトンボを探し、合計19種のトンボを観察しました。ブナセンター職員の太田祥作さんは「田んぼと溜め池には異なるトンボが生息していて、水辺で暮らすヤゴ（幼虫）の成長にかかる期間の違いとその間の水の有り無し等が関係している」と解説し、参加者の方は只見町のトンボの多様性に驚いていました。



▲田の脇の用水路で採取されたオニヤンマの解説を聞く参加者



## 広報ただみ診療所

朝日診療所  
所長

わかやま たかし  
若山 隆



お盆中の新聞記事で、只見町が新型コロナウイルスワクチン2回接種済みの方の割合が89%となっており、福島県内で一番！となっていました。すごいですね！この文章を書いている頃は日本中で新型コロナウイルス感染者数が過去最多を更新している状況です。しかし猛威をふるうデルタ株に対しても、ワクチンはしっかり重症化・死亡を防いでくれます。感染する方はでるかもしれませんが、マスク・手指消毒などの基本的な感染対策を続けておけば、過度に恐れる必要はないでしょう。

今回は胃カメラ検診のご案内をしたいと思います。コロナも厄介ですが、胃がんの早期発見・早期治療もとても重要です。朝日診療所ではしっかり感染予防対策をとったうえで胃カメラを行うので、対象の方（町から通知があった方）はぜひご検討ください。

**対象者**：50歳以上の方で、2022年3月31日を基準日として偶数年の方

**対象の除外となる方**：血液サラサラにする薬を飲んでいる方、胃の病気で治療中の方・胃の手術を受けたことがある方、呼吸不全のある方、心疾患の持病のある方 など

**費用**：3000円

**期間**：2021年9月～11月中（予定）

**電話連絡先**：朝日診療所は 0241-84-2221（9時～16時の間）

## 地域おこし協力隊として Vol.81

「只見暮らし1年生」

只見町  
教育振興協力隊  
おち  
越智めぐみ



只見高校生に向けた公営塾「心志塾」の講師として昨年の11月に只見に来て、あっという間に半年以上が過ぎました。冬の雪の多さなど、慣れないこともありましたが、周りの方があたたかく支えてくださったおかげです。この場をお借りして感謝をお伝えいたします。

さて、この度私生活で大きな変化がありました。住まいを町営住宅から、空き家に移動したのです。実際に暮らすにあたって、空き家の物品の整理をしていたのですが、只見の重要文化財である仕事着や民具が出てきたり、食事作法について伝えられた巻物、前天皇皇后陛下の若いころの写真が出てきたりするなど、普通に暮らしては目にすることのできない、多くの貴重なものに出会うことができました。これらの品々を見ると、町や人、歴史とのつながりを強く感じ、大切に次の世代に受け継いでいきたいという気持ちが大変強くなりました。また、以前住まわれていた方が詠まれた俳句も多く残されていました。文字とは不思議なものです。実際にお会いしたことがないにも関わらず、人柄や感じ方を辿ることができる気がして、心があたたかくなりました。

ご近所の皆様も温かく迎えてくださり、この新たな場所で充実した日々を過ごしています。

昨年度から、只見高校では町の課題を見つけ、その解決策を考える「総合的な探究」の時間という授業が始まりました。その中で、町の空き家問題について興味を持ち、空き家の活用方法を真剣に考える高校生も多くいます。幸い、私は地域おこし協力隊として「教育」という分野から高校生と関わることのできる立場にあります。只見町で生まれ育ってきた生徒たち、そして他の地域からやってきた山村教育留学生たち若い世代に、実際に空き家で暮らしてみte感じたことや気付いたことを伝え、これからの未来を担う若い世代の人たちに知ってもらい、共に考えることで明るい街の未来を切り拓くお手伝いをしていけたらと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

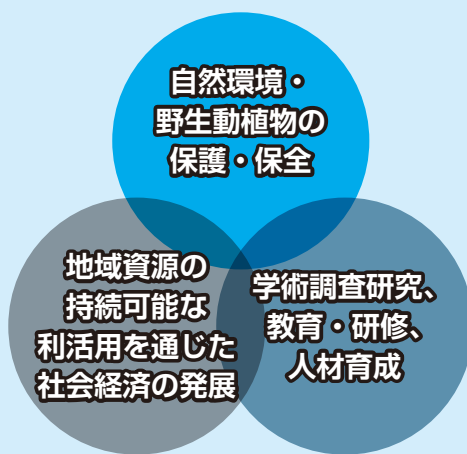


# ユネスコエコパーク

## ～自然と人間社会の共生のための取り組み～ ②

前号では、ユネスコエコパークが、地域の生態系の保護・保全に加え、それらの持続可能な利活用を行う、いわば、自然と人間社会の共生を実現する国際モデル地域であることをご紹介しました。今回は、「自然と人間社会の共生」という目的を実現するためにユネスコエコパーク内ではどのような目標のもとに活動を行うか、どのような構造となるのか、をご紹介します。

### ユネスコエコパークの活動目標は3つ



ユネスコエコパーク域内では、「自然と人間社会の共生」という目的のために、左の図のように3つの目標のもとに活動を行います。1つは、私たち人類の生存に必要不可欠な自然環境や生物多様性を保護・保全することです。2つ目に、自然環境や生物多様性といった地域資源を持続可能な形で利活用し、地域の社会的な発展を目指します。例えば、エコツーリズムやグリーンツーリズムの推進、地域産品のブランド化、環境配慮型の農業の推進、伝統文化の継承・発展、などが挙げられます。さらに、3つ目に、こうした自然・伝統文化を守ることや利活用するための知識や技術を得るための学術調査研究の実施、そして、それらを実践する人材の育成を行うことです。これら3つの目標はそれぞれが独立するものではなく、互いに補完・強化しあう関係にあります。

### ユネスコエコパークの構造

ユネスコエコパーク域内は、守るべき貴重な自然環境や生物多様性の保護・保全を図るための核心地域、その核心地域を守る緩衝地域、地域振興・発展を図る移行地域の3つの土地利用区分を設けることとなります。核心地域は調査研究を除き立ち入りが規制され、緩衝地域は調査研究以外に、地元住民の入会慣行やエコツーリズムなど非破壊的な活用が認められます。移行地域は、特に規制は設けられませんが自然環境・野生動植物に配慮した生活・産業活動が努力目標として求められます。つまり、保護・保全すべき地域、持続可能な形で利活用する地域を明確に区分することで「自然と人間の共生」を実現しようという仕組みです。こうした土地利用の規制は、対象地域に既存の自然公園法、林野庁の保護林制度などを拠り所に行われます。つまり、ユネスコエコパークは、その指定により新たな規制は生じないことが特徴の制度です。



#### 核心地域

守るべき貴重な自然環境・生物多様性を長期的に、厳格に保護・保全することを目的に設定される地域。

#### 緩衝地域

移行地域の人間活動から核心地域の自然環境を保護する目的で設定され、核心地域と同等の自然環境を有する地域。

#### 移行地域

人が生活し、自然環境・野生動植物に配慮した活動を行うことで持続可能な発展を実現する地域。

次号以降は、只見ユネスコエコパークの自然や文化の特徴についてご紹介します。





# 町民文芸

## 只見短歌会 令和三年八月詠草

北国の夏は短し秋あかねか早も飛びかひ我が目うたがふ  
馬場 八智

ボーナスが出たよばあさんおみやげは食物駄目よ制限ありて  
渡部ゆき子

報道に豪雨災害痛ましきコロナ猛暑やオリンピックと  
関谷登美子

花々の咲き移ろうを見回りに日は除けの傘を差しやる  
目黒 富子

白藤の下に植ゑ替へする我に通る人ごと声かけくるる  
新国由紀子

今年こそと帰省楽しむ娘らに我慢してねと伝ふ切なき  
渡部ヨリ子

なが病みて逝きたる従姉に哀しみの静まらずして弔辞書きつぐ  
新国 洋子

(出詠順)

## 只見俳句会 八月定例会

老鶯や山気のせまる県境  
雑木林の隙間つくつく法師かな  
礼

枝豆の太る夕べや匂い立つ  
曾孫五人我八十や盆用意  
一穂

水飲むや支柱の先の赤とんぼ  
妻帰宅西瓜の出来を尋ねおり  
修一

鳳仙花弾け尽くして終戦日  
戦争の果てなき星を大銀河  
幸生

遠き日の祖母の涙や終戦忌  
夏草や刈れども刈れども玉の汗  
信

宇多喜代子 指導

半夏雨草刈り機鳴る村普請  
つく息を少しとどめや滴りて  
都

新松子故人と対す写経かな  
空蟬を袋いっぱい拾う子よ  
一恵

帰省の子岩魚を五匹釣りにけり  
停年後の夢叶いて夏野菜  
真理子

早朝に野菜を採りて友尋ね  
梅雨の朝草刈る姿に「ありがとう」  
睦子





# 今月のお知らせ

## 電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係 広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議事事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

## 試験

令和4年度公益財団法人  
福島県文化振興財団  
正規職員採用試験

一、試験職種及び採用予定  
人員

- 学芸員 1名
- 文化財主事・学芸員 2名
- 二、受験資格(学歴不問)
- 学芸員

- 次の条件を全て満たす者
- ①大学院において日本近世史又は日本近代史を専攻し、修了した者又は令和4年3月31日までに大学院を修了見込みの者
- ②学芸員資格を有する者又は令和4年3月31日までに取得見込みの者
- ③昭和37年4月1日以降に生まれた者
- 文化財主事・学芸員
- 次の条件を全て満たす者

①大学(大学院を含む)を卒業(修了)した者又は令和4年3月31日までに大学を卒業(修了)見込みの者

②学芸員資格を有する者又は令和4年3月31日までに取得見込みの者

③昭和37年4月1日以降に生まれた者

三、第一次試験の日時、会場  
(学芸員、文化財主事・学芸員共通)

○日時  
令和3年10月12日(火)  
午後1時受付〜午後4時20分

○会場  
福島市春日町5-54  
とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター) 2階会議室

四、発表  
10月19日に合格者の受験番号をホームページに掲載するほか、合格者へ郵送にて2次試験案内を通知します。

五、受験手続及び受付期間

○申込書請求  
申込書はホームページ(検索・公益財団法人福島県文化振興財団)からダウンロードしてください。

○受付期間  
令和3年9月1日から9月27日まで(9月27日消印有効)

○申込方法  
受験申込書、履歴書を提出先まで持参又は郵送してください。

○提出先  
〒960-18116  
福島市春日町5-54  
とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)内 公益財団法人福島県文化振興財団事務局総務課 採用担当 行

☎024-534-9192  
※郵送による受験申込は「特定記録」郵便とし、返信用封筒(長3封筒)に84

☎024-534-1904  
※法人に関する手続案内は福島地方事務局のみ行っています。

円分の切手を添付してください。

## お知らせ

電話による登記手続案内の事前予約について

福島地方事務局田島出張所では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、登記手続案内について、当分の間、電話による対応としています。

また、登記手続案内は完全予約制ですので、利用を希望される方は事前にご予約をお願いします。

○予約先  
福島地方事務局田島出張所

☎024-1-6210249  
☎024-1-534-1904

## 只見町初の介護タクシーが運行開始

只見町初の介護タクシー「ふなき介護タクシー」が運行開始となりました。事前にご予約いただければ、24時間365日できる限り対応させていただきます。

タクシー以外にも、買い物代行、自宅屋内外の軽作業などの救援事業も行っています。料金や利用相談についてはお気軽にご相談ください。



○ご予約・お問合せ  
☎090-9036-9131

## 税 今月の納期

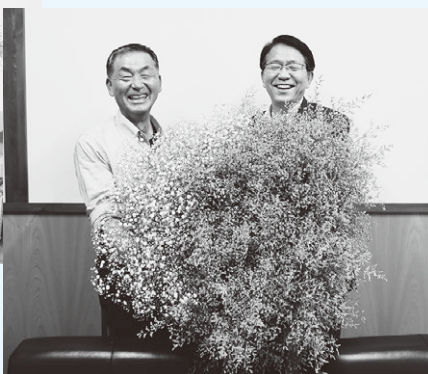
- 9月27日までに納めましょう
- 国民健康保険税(3期)
  - 水道使用料(2期)
  - 農集排使用料(9月分)
  - 介護保険料(3期)
  - 後期高齢者保険料(2期)



## お花の寄贈 ありがとうございました

菅家和義さん（布沢）から、自身が育てられたカスミノソウとスターチスを寄贈いただきました。寄贈いただいた花は、町下庁舎のカウンターなどに飾られ来庁者を出迎えました。（紙面の都合上、カラーでご紹介出来ずに申し訳ありません）

▼菅家さんから花を受け取る  
渡部町長



## 虫歯の ない子



（7月27日）  
3歳児検診



はば すい  
馬場 慧くん（大倉）



すずき ゆうと  
鈴木 悠冬くん（只見）

## 町長スケジュール （8月分）

- 2日 定例庁議、只見町とモンベルとの地域包括連携協定締結式
- 3日 (福)南会津理事会、南会津地方広域市町村圏組合管理者会、南会津地方環境衛生組合管理者会(南会津町)、下福井集落座談会
- 4日 南会津地区ふれあいニューススポーツ交流大会
- 5日 民報出版社文化賞受賞報告来庁、全会津商工観光推進大会(会津坂下町)、楯戸集落座談会
- 6日 NHK福島放送局表敬訪問、福島県土木部長表敬訪問(福島市)
- 10日 議会全員協議会
- 11日 町づくり研究会代表他来庁
- 12日 議会8月会議
- 15日 只見町成人式
- 16日 河井継之助墓前祭
- 17日 南会津地方振興局長来庁

- 18日 観光まちづくり協会役員来庁
- 20日 朝日診療所医師との懇談会
- 23日 南会津地方環境衛生組合議会定例会(下郷町)、南会津地方広域市町村圏組合議会定例会(南会津町)
- 24日 9月補正予算町長査定、パラリンピック種火おこし報告来庁
- 25日 只見町道路愛護会受賞報告来庁、あの災害を忘れない平成23年7月新潟・福島豪雨災害から10年「あいつの今」シンポジウム、小林集落座談会
- 26日 駅前賑わいづくり議会特別委員会、個人県民税優良町村に対する知事感謝状の贈呈式、南会津地方振興局長との意見交換会、地域おこし協力隊との懇談会
- 27日 南会津建設事務所道路課要望箇所現地視察、寄岩・塩沢・十島集落座談会
- 28日 只見線全線開通50周年記念式典(新潟県魚沼市)
- 29日 只見カップビーチバレー大会、只見線全線開通50周年記念式典(只見町)
- 30日 議案検討庁議
- 31日 町村長研修会(福島市)

# 町民の消息

(7月26日～8月25日届出分) 敬称略

## ■お誕生おめでとうございます

齋藤 凛<sup>りん</sup> (女/竜二・恵美) 亀岡

## ■おくやみ申し上げます

佐藤 ナカ子	75歳	只見
角田 芳房	92歳	小林
吉津 市男	84歳	黒谷
飯塚 信哉	88歳	大倉
目黒 ツギ子	75歳	石伏



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

令和3年8月1日現在

人	口	3,988 (-10)
男		1,958 (-6)
女		2,030 (-4)
世帯数		1,719 (-2)
高齢化率		46.8%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 3 転出 7 出生 2 死亡 8

## あとがき

▽新成人の皆様、おめでとうございます。  
 います。  
 ▽成人式はオンライン参加も可能な新しい形での開催となり、会場参加の方だけでなくオンライン参加の方とも再会を喜び合う姿は、胸にこみ上げてくるものがありました。  
 ▽お盆が過ぎ、朝晩は少し涼しくなってきたような気がします。日中はまだまだ暑いようです。マスクをつける機会も多いので、引き続き熱中症に注意しましょう。  
 (小林)

## 朝日振興センター 図書紹介

朝日振興センター図書室  
☎84-2111  
三瓶 美由紀

# おすすめ新着図書

## ★琥珀の夏



辻村深月／著 (文藝春秋)

大人になる途中で、私たちが取りこぼし、忘れてしまったものは、どうなるんだろう——。封じられた時間のなかに取り残されたあの子は、どこへ行ってしまったんだろう。

かつてカルトと批判された〈ミライの学校〉の敷地から発見された子どもの白骨死体。弁護士の法子は、遺体が自分の知る少女のものではないかと胸騒ぎをおぼえる。小学生の頃に参加した〈ミライの学校〉の夏合宿。そこには自主性を育てるために親と離れて共同生活を送る子どもたちがいて、学校ではうまくやれない法子も、合宿では「ずっと友達」と言ってくれる少女に出会えたのだ。もし、あの子が死んでいたのだとしたら……。

30年前の記憶の扉が開き、幼い日の友情と罪があふれます。

圧巻の最終章に涙が込み上げる、辻村深月の新たな代表作。

## ★わたしたちのカメムシずかん



鈴木海花／著 (福音館書店)

「カメムシ」と聞くと、どんなことを思い浮かべますか? 「あの臭い虫?」と、おそらくあまり良いイメージはもっていないのではないのでしょうか。でも、じつはカメムシには、美しいものや、かわったかたちのものなど、いろんな種類がいて、よく見ると、なかなかおもしろい生きものなのです。

岩手県葛巻町にある小学校では、そんなカメムシをみんなでさがして、調べて、「カメムシずかん」を作りました。

小さな町の小さな小学校で本当にあった夢のようなお話が絵本になりました!

○朝日振興センターではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。

## 町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう





## トノサマバッタ

(学名 : *Locusta migratoria*)

(文 吉岡義雄)



▲ 日中はこのように、地面にどっしりと構えていることが多い

▲ トノサマバッタの好む明るい草地

トノサマバッタは裸地や明るい草原に生息し、公園や土手などでもよく見られる身近なバッタです。アフリカなど外国の大発生では農作物を食い尽くすことで有名ですが、国内で問題になることはほとんどありません。これは、日本では広大な草原がないことから大発生自体が起こりにくいこと、加えて大発生が起こってもすぐに終息することが理由としてあげられます。なぜ大発生がすぐに終息するのか、これには彼らの生活史と日本の気候的な要因が深く関わっています。その仕組みを紹介しましょう。

只見も含む東北の寒冷な地域でトノサマバッタの成虫が発生するのは7月下旬から8月の年1回で、産卵すると年越しして翌春<sup>ふか</sup>孵化します。より温暖な関西などでは、6月下旬ごろに第一世代の成虫が発生し、その卵は冬を待たず7月下旬から8月上旬に孵化します。そのため8月下旬には第二世代の成虫が発生します。さらに温暖な沖縄の南西諸島では第三世代まで成虫が発生します。

なぜこのような違いが生じるのでしょうか。寒冷な地域のトノサマバッタの卵は冬を経験しないと孵化しない仕組みを備えており、年1回しか成虫が発生しないのです。厳しい冬を卵で越すための戦略を備えているといえます。逆に年中暖かい南西諸島ではそのような仕組みは不要です。つまり、成虫の発生回数の違いは各地域に適応した集団の習性なのです。仮に国内で大発生したバッタが他の地域に移動すると、その地域の気候に適応できず死滅してしまうのです。これが、日本でトノサマバッタの大発生が長期化しない理由です。

### 只見町ブナセンターからのお知らせ

只見町ブナセンター附属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。皆様のお越しをお待ちしております。

#### 企画展「只見のブナ林の昆虫」

会 期：2021年7月31日(土)～2021年11月29日(月)

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー